

いけだ

No.116

議会だより

平成29年10月25日発行

お月見の伝統行事を学ぶ

～町創造館の「お月見会」にて～



9月定例会

- 平成28年度決算審査…………… P.2～3
・町のお金はどのように使われたか
- 補正予算の目玉…………… P.6～7
- あなたの声を町政に(一般質問)…… P.10～14
- 町民の皆さんに聞く…………… P.16

歳入総額69億5633万円、歳出総額68億708万円となり、
なった。
昨年より1.4ポイント上がった。

9月定例会の概要

9月定例会は、9月7日から21日まで開かれた。28年度決算の認定6件、29年度補正予算など議案13件を審議し、認定、議決した。陳情3件を審議し、1件は採択し、国、県の関係機関に意見書1件を提出した。2件は継続とした。

平成28年度の主な事業

介護予防・生活支援
拠点整備事業

1億3362万9000円

- 新設の地域高齢者支えあい拠点施設…滝沢・広津・3丁目
- 改築の地域高齢者支えあい拠点施設…豊町・相道寺

国の福祉空間整備事業で平成28年度までに地域高齢者支えあい拠点施設を町内11か所に整備し、地域の介護予防活動に活用した。



新設 三丁目公民館

海外販路開拓等
推進事業

491万4000円

農産物(米・日本酒・ワイン等)の輸出に関するデータ分析など、安曇野市、松川村と連携して検討した。

多面的機能支払
交付金事業

6349万1616円

- 農家と非農家の協力で農業生産基盤を守る取り組み
- 農地の維持、水路、農道などの改修、水路清掃など。



力を合わせて農道の草刈り(渋南地区)

プレミアム事業補助金
700万円

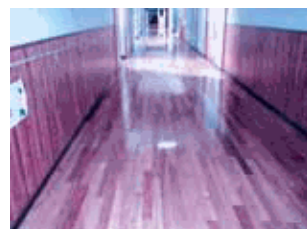
- 20%を付加した商品券3,000セット(36,000枚)販売、換金率99.84%
- 大型店の利用率は33%で地元事業者の利用促進になった。

商業活用エリア事業
6522万2280円

- 旧アップルランド跡地購入・既存家屋の解体

学校施設
大規模改修工事
4272万4800円

- 池田小学校の体育館床塗装、ステージ照明器具のLED化、飛散防止フィルム貼り
- 会染小学校の照明器具のLED化、飛散防止フィルム貼り
- 高瀬中学校の飛散防止フィルム貼り



ピカピカに整備された校舎

平成28年度 決算

一般会計・特別会計・水道事業会計の全会計の黒字額は、1億4924万円と実質公債費率は6.6ポイントになり、引き続き、実質公債費率の抑制を求める。

💡 28年度 町のお金(一般会計予算)はどのように入り、使われたの？

町の財政状況を池田さん家^ち(仮称)の家計に置き換えてみました

歳出決算額47億9千万を
年支出479万円として

(1世帯当たり 120万円)
(町民1人当たり 47万円)

支出

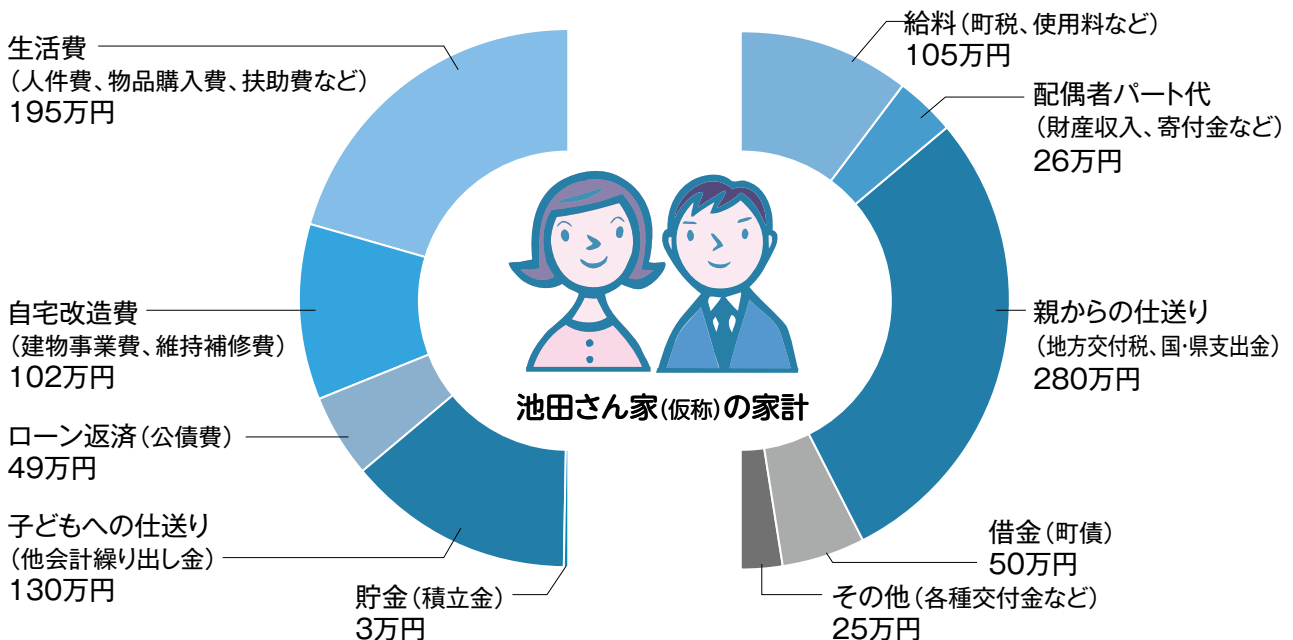
年間支出 479万円

歳入決算額48億6千万を
年収入486万円として

(1世帯当たり 122万円)
(町民1人当たり 48万円)

収入

年間収入 486万円



〈表紙〉

＝中秋の名月にちなんでの「お月見会」＝
秋の収穫に感謝し、つきたての大きな鏡餅を飾った。ススキや秋の七草、お箸に見たてた大根などが添えられた。

一口メモ

- * 一般会計：特別会計に属さない、福祉・教育・防災などの広い町民サービスの会計
- * 特別会計：工場誘致、国民健康保険、後期高齢者医療、下水道事業、簡易水道事業の会計
- * 実質公債比率：全会計の借金返済額（公債費）が標準財政規模（町収入）に対する比率

平成28年度
一般会計決算



決

算

審

査

質疑内容

企画政策課関係

問 元気づくり事業521万円は、補助はするが、報告が一部で成果が見えない。他の自治会にわかるよう発表する機会やプレゼンテーションで公開の場を設けてはどうか。

答 町ホームページで紹介しているが、発表機会を検討したい。

問 移住定住のアンケートで「売却、賃貸の予定なし」が64件あるが、リストから外さずいつでも連絡できる対応がされているか。

答 自治会長に改めて意向調査を行い、空き家リストを作成している。時代の変化に伴い活用できるよう、情報の把握に努めていきたい。

総務課関係

問 災害対策の備品に発電機9台あるが、年に1、2回使用しないといざというときに使えない可能性がある。防災イベントで貸してほしいという声があるがどうか。

答 使用内容を聞いて貸出しをしていく。

住民課関係

問 27年度広津地区で土砂災害移住マニュアルを作成し、避難訓練をした。陸郷地区でやっていないかどうするのか。

答 陸郷のマニュアルは作成中である。

問 町営バス運行協力金について、安曇野市へ協力金の申し入れを行ったか。



いざという時に備えて防災訓練

健康福祉課関係

答 申し入れるか町で精査する。

問 予防費のはつらつスタンプ事業400人達成は大きいですが、40歳から70歳まで幅があり、平均的にどのくらいがターゲットか知りたい。また、20歳の歯科検診事業結果で利用率19.5%の評価を聞きたい。

答 はつらつスタンプ事業は60歳から70歳がほとんどで、40歳から50歳が少なかった。また、20歳の歯科検診受診率は低いと認識している。今後検討課題とする。

問 ヤング健診で男性はLDLコレステロール、女性はヘモグロビンエーワンシーの値が高く憂慮



はつらつスタンプカード

答 される。町は生活習慣改善をどのように考えているか。食生活改善推進員の力が大切だが、高齢化し会員が減少している。町の対応は。

答 ヤング健診は横ばい

で進んでいないが、健診結果を見ながら個別に対応していく。食生活改善推進員の高齢化が進み現在30人ほどで、年間1人増えれば良いところがある。

建設水道課関係

問 道路舗装の優先順位はどのように決めているのか。

答 自治会要望をもとに全体調整で決める。陥没、欠損、水溜りなどひどい箇所を優先している。

問 29年度は耐震改修費補助金が100万円に上っているのですが、もっとアピールして事業の取り組みを推進してほしい。

答 今後PRを兼ねて町民説明会を計画する。

産業振興課関係

問 修景促進委託料25万円は何に使用したのか。また、効果はあったか。

答 「生活の木」に町の意見も入れてハーブガーデンの植栽を提案してもらい、4月29日にリニューアルイベントを開催し成果があったと思う。



桑ベースのハーブティーづくり

問 農用地利用改善組合の補助金は、減反政策の廃止で今後どうなるのか。

答 地域農業、耕地利用状況把握のため、県、北安曇、町の再生協議会は、引き続き生産調整は必要と考えている。生産調整が実施されているか把握のため、来年以降も補助金は支給していく。

問 ハーバルヘルスツーリズムを地域住民に浸透させ、どう進めるのか見えてこない。和風ハーブを食生活につなげていけないか。

答 町民対象のトレーニング育成もこれから行う。和風ハーブの山椒、よもぎ等の身近なものを食生活に取り入れることを指導していく。

教育保育課関係

問 主任保育士3人全員が嘱託職員であるが、正規職員にすべきではないか。また、臨時職員の雇用契約は1年で、フルタイムの人もいるので複数年にし、待遇改善が必要と考えるか。

答 主任保育士は20年以上経験のある人を登用している。29年度は会染保育園に主任保育士の1人を正規職員で配置し、池田保育園は臨時の主任保育士2人で対応している。また、臨時職員はすべて1年契約である。安心して働くために複数契約や待遇改善は必要と考えている。



予算決算特別委員会指摘事項

- 実質公債費比率が順調に下がってきていたが、新たな償還が始まり上昇に転じた。財政状況を見極め、短期ではなく5年位の長期的な実質公債費比率の見通しを立て、資料を提示しつつ行財政運営に努められたい。
- 池田ワイン祭りについて4年目の本年も含めた実績を分析し、内容の検討を図られたい。池田町独自色を出して、ワイン祭りを町としていかに位置付け、充実させるか更なる調査・研究をされたい。



今年度のポスター

組みと8月豪雨災害の復旧工事費を可決!!

質 疑

まちなかの駐車場整備

産業振興課関係

- 問** 旧わでまちホールの駐車場を有料で貸すことができるか。
- 答** 3月条例改正を検討する

小学校に管理機設置

教育保育課関係

- 問** 会染小学校で管理機を購入したが目的は。
- 答** 学校の畑を自分たちで耕すため。また、市民農園やハーブセンターでも使用する予定である。

移住定住施策

企画政策課関係

- 問** 移住定住推進事業で業者から町の方向性が見えないと聞いた。広津の問い合わせが多く、町中と分けた方がよいのではないか。
- 答** 同じ意見が出ている。地区別に分けることを検討する。

役場庁舎管理

総務課関係

- 問** 庁舎管理経費の施設修理について、傷みが目立つ箇所での修理を早くできないか。
- 答** 庁舎全体にあり、逐次進める。
- 問** 火災速報の自動音声で地区名がわかりにくい。無線システムに頼らない方法もあると思うが。
- 答** 消防署のシステムで流れている。プライバシーもあり、今後消防署と詰めていく。



常任委員会

総務福祉委員会

○議案
福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例

説明

18歳までの子どもの医療費は、現在、一旦窓口で支払い2、3か月後に受給者負担金(500円)を除く医療代が銀行口座に振り込まれる。来年8月から窓口で500円を支払うだけになる。

問 受給者証とはどんなものか。

答 福祉医療費の資格に該当した人に渡す受給申請証で、現物給付方式と自動給付方式と区別できるように発行する予定である。

審議結果 全員賛成で可決

振興文教委員会

●陳情 私立高校に関する公費助成をお願いする

陳情

意見 毎年家庭環境が厳しくなっているから賛成。

審議結果 全員賛成で採択

●陳情 「全国森林環境税の創設に関する意見書の採択」に関する陳情

意見 県は平成20年から森林づくり県民税を導入している。これ以上税金を取ることに反対。

意見 県の来年度の森林税の方針を待ってからがよいので継続審査でよい。

審議結果 継続多数で継続審査

●病児保育の実施を求める陳情

意見 松本市は新たに2か所開設し利用者が増加している。大北圏内は1か所もない。女性の働きやすい環境を早く作るべきで賛成。

意見 大北広域で考えるべきだ。継続でよい。

意見 松川と一緒に取り組むことになっており、意見を調整してから取り組む方がよいので継続に。

審議結果 継続多数で継続審査

移住定住促進事業の取り



平成29年度一般会計補正予算で決まった事業はなに!?

目玉事業ピックアップ

移住定住推進事業
805万7000円

お試し住宅(豊町の教員住宅2棟の改修)と、移住定住補助金の創設

財源
町一般財源 805万7000円



お試し住宅として活用される教員住宅

介護予防拠点整備事業
930万円

坂下自治会の要望で介護予防拠点施設を整備する

財源
(県)医療介護総合確保基金事業補助金 850万円
町一般財源 80万円



公共土木施設災害復旧事業
777万6000円

町道7路線の復旧工事と応急工事

財源
(国)公共土木施設災害復旧費負担金 400万2000円
(地)災害復旧事業債 250万円
町一般財源 127万4000円



被災した町道登波離橋線(相道寺上)

まちなか駐車場整備
1200万円

財源
町一般財源 1200万円

旧わでまちホールあと地の駐車場整備



防災対策事業費
189万6000円

財源
町一般財源 189万6000万円

防災無線が聞き取りにくい地域の個別受信機の修理とスピーカーの移転

予算決算特別委員会の審査意見

検討すべき事項

- 公共施設等総合管理計画の具体化に当たっては、町民の意見を十分に聴いて実施されたい。
- 安曇野市からの町営バス運行協力金については、安曇野市住民の利用実態を調査し交渉されたい。
- 健康に関心の低い若年層に対する健康増進の取り組みを強化されたい。
- 高齢化比率が37.6%となり、ひとり暮らし高齢者が554人に増加した。高齢者が健康で生活できるよう、更なる取り組みを進められたい。
- ハーバルヘルスツーリズム推進事業は、町民の参加を促し、町民も巻き込んだ取り組みとして強化されたい。
- 県道上生坂・信濃松川停車場線の山間部改良を更に進めると共に、池田町としての今後の方向性を明確化する取り組みを強化されたい。



花とハーブの里ブランド化事業(ハーブの寄せ植え体験)

- 地域交流センターが町民に有効活用されるよう、利用について具体的な取り組みを早急に進められたい。
- 地域交流センターが町なかの賑わいを図る核となる施設になるよう、初期の目的達成のための調査研究をされたい。

本会議の質疑

○平成28年度決算書について

問 昨年、監査委員から不納欠損のマニユアルを作る事とごみの量の改善する事に意見があったがどうなったか。

答 不納欠損のマニユアルについては、税や水道など多岐にわたり現在検討を始めている。

ごみ減量について28年度は27年度に比べ20t減少した。広報活動はしている。

○認定平成28年度一般会計決算の賛成討論 薄井孝彦議員

① 28年度決算で約6500万円の黒字となり、健全な財政運営がなされた。

② 「社会資本総合整備事業」が実施され、ハーブの里づくりを進めるハーバルヘルスツーリズム推進事業が実施された。また、

「小中学生の給食費1人1万円補助」、町国民健康保険税の減額、在宅介護給付金制度も実施された。

審査意見として、予算説明書「わかりやすい町の仕事」の作成を復活し

○陳情 全国森林環境税の創設に関する意見書の採択に関する陳情の賛成討論 矢口 稔議員

委員会が開催された9月13日現在、長野県の来年度以降の森林税の方針が示されていない。委員会として、県の方針を待ってからの意見があった。そのため継続審査の決定は適当であり、賛成する。

森林の有する公益的機能を拡大することは意義あることである。しかし、その財源は新たな国民課税ではなく、国の財政運

営を見直すことにより産み出すべきと考える。厳しい経済情勢のなか新たな町民負担を強いる陳情15号は「不採択」とするのが適当と考える。

○陳情 病児保育の実施を求める陳情の「継続審査」への反対討論 薄井孝彦議員

平成27年に、町が就学前児童の保護者に行ったニーズ調査で「子どもの看護を理由に休みがとれない」と答える人が多かった。

国は「子ども・子育て支援法」で病児保育を勧め、施設整備を助成する交付金もある。当地域での病児保育利用者の利便性を考えると、池田町・松川村で北アルプス医療センターあづみ病院との連携ですめることが現実的と考え、「採択」すべきである。



審査結果

9月定例会
提出案件

区分	件名	審査結果
認定	平成 28 年度一般会計歳入歳出決算の認定 (内容) 歳入 48 億 6480 万 4095 円、歳出 47 億 9970 万 2992 円 残高 6510 万 1103 円となった	認定
認定	平成 28 年度工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	平成 28 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	平成 28 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	平成 28 年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
認定	平成 28 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案	平成 28 年度水道事業会計の余剰金処分及び決算の認定	可決
議案	福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例 (内容) 平成 30 年 8 月から 18 歳までの子どもの医療費が窓口で無料化となる	可決
議案	老人共同作業所設置及び管理に関する条例を廃止する条例 (内容) 作業所が耐震基準に合致しないため 3 丁目高齢者地域支え合い拠点	可決
議案	町道の路線の廃止	可決
議案	町道の路線の認定	可決
議案	平成 29 年度一般会計補正予算 (第 3 号) (内容) 8366 万 5000 円を追加し、歳入歳出 51 億 9152 万 4000 円とする。主な増額は 移住定住促進事業 805 万 7000 円、8 月豪雨災害復旧事業 777 万 6000 円など。	可決
議案	平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算	可決
議案	平成 29 年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
議案	平成 29 年度下水道事業特別会計補正予算	可決
議案	平成 29 年度簡易水道事業特別会計補正予算	可決
議案	平成 29 年度水道事業会計補正予算	可決
議案	平成 28 年度 (繰越) まちなかの賑わい拠点施設建設工事請負契約の締結について (内容) まちなかの賑わい拠点施設・スペースゼロの新築工事請負契約 7830 万円 (税込)	可決
議案	平成 29 年度一般会計補正予算 (第 4 号) (内容) 介護予防拠点整備 (坂下地区) 事業費 930 万円 (県 850 万円)	可決
陳情	私立高校への公費助成に関する陳情書	採択
陳情	「全国森林環境税の創設に関する意見書の採択」に関する陳情	継続審査
陳情	病児保育の実施を求める陳情	継続審査
発議	私立高校への公費助成に関する意見書 (国および県へ要望)	可決
発議	道路整備事業に係る国の補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書	可決

あなたの 声 を町政に

ここが聞きたい
7人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をともに、町長や教育長などの方針を問うものです。

池田町は1人60分の制限時間内で質問します。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

質問者	質問事項
横澤はま	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「たくましく生きる力」を育む食教育について 2. 町民の健康増進・栄養改善施策について 3. あづみ野池田総合戦略の住民によるまちづくり推進について 4. 地域交流センターの運営と課題について
倉科栄司	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校における部活動の今後の見通しと対策について 2. 旧池田北保育園（園舎も含め全体）の有効的な利活用について
薄井孝彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大雨災害に対する減災対策について 2. 文化財管理施設整備事業など社会資本総合整備計画の進め方について 3. 「住宅リフォーム助成制度」の再開について
服部久子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病児保育の実施について 2. 子どもの医療費の窓口完全無料化へ 3. 国民健康保険制度の広域化で国保料はどうなるのか 4. 新生児聴覚検査と難聴者への支援
大出美晴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鳥獣被害対策をどう進めるのか。 2. 想定外の災害に備え、事前にやるべきことはないか。
矢口 稔	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい者も健常者も共に活動できる事業の推進について 2. インターネットを活用した情報発信の充実について 3. 自治会未加入世帯増加への対応について
櫻井康人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 移住定住と人口問題について 2. 健康寿命を延ばすための全町的取組みを



「たくましく生きる力」を育む食教育は

横澤 はま議員

【教育長】学びの地図としての改訂学習指導要領に沿った食教育を進める

問 食育指導全体計画を基とした食教育推進は。

答 各校の教育目標に沿った指導方針のもと、教科・特別活動・総合的な学習の時間で食事の重要性・喜び・楽しさを理解させる指導をしている。

問 担任と栄養教諭との連携による食教育の指導の充実を。

答 これまでの体制を維持しながら「見える化」し給食の充実を目指したい。地域の伝統に触れ、豊かな食生活を送るための学習も計画している。今後、家庭での食育をどうすべきか考慮する必要があると感じている。



新しい食事につながる食育教材

問 食育教材の効果的活用は。

答 担任独自の指導で行っているが、指導教材の保護者向けの作成も必要であり今後の課題である。

問 町民の健康増進・栄養改善施策の取り組みは

答 学校・家庭・地域の連携で健康長寿の延伸につながる施策を。学校や関係機

関と連携した取り組みや、PTA、地域と共に子育て会議を通して意見を聞きながら進めていく。

問 あづみ野池田総合戦略の住民によるまちづくり推進は

答 クラフトパーク振興計画作成の方向性と町民参加の応援団を。

問 アンケートをとり協議し、方向性を示しスピード感を持って対応する。応援団を募集し、組織的、自主的に活動できる体制をとっていききたい。

問 地域交流センターの運営と課題

答 町民と共に取り組む運営方針、ライフラインはどのように考えているか。

問 今年度末には団体、一般公募による運営の組織構成作りをする。外トイレ増設、水場設備など財政状況等踏まえ検討していきたい。施設完成後、当面は指定避難場所に当て、早い時期に自家発電を整備し、予備の災害対策本部とする。



旧池田北保育園の有効的な利活用について

倉科 栄司議員

【企画政策課長】更地での売却処分が有力だが、現在は未決定

問 有効的な利活用について、はつきりとした道筋がついていないが町としての見解は。

答 様々なご意見はきいている。ただ建物の耐震性を図るには多額な費用が必要となる。再利用よりも更地にして売却処分が有力だが、現時点では決定していない。

問 遊戯室を残して、フリースペース等として有効活用はできないか。

答 町有の箱物面積の減少という計画もある。方向性はつきりとしたら検討したい。

問 園庭の面積は貴重な広さである。子どもが安心して遊べる遊具を設置して欲しいが。

答 多額の費用がかからないので、関係課と協議し検討する。

問 園庭南西の入口の鉄製の柵を撤去し、スムーズな出入りができるようにポール等に改善して欲しいが。

答 現在利用されている皆さんや、地元自治会の暫定的な避難場所としての活用面から、改善を検討する。

要望 方向性を決定する際は、関係する皆さんの意見を充分聴いてほしい。

問 中学校における部活動の今後の見通しと対策について

答 池田町における少子化は急激、かつ衝撃的な数字となっている。今後高瀬中学校でも団体スポーツの部活動が、生徒数の減少で活動中止を余儀なくされることができると予想される。現場の先生方を中心に対策は検討されているか。



旧池田北保育園

答 今後近隣の学校と合同チームをつくることを視野に検討していくとのことである。

問 教育委員会の見解は。

答 中学校との情報共有に努め、近隣市町村の教育委員会と連携をとりながら、団体スポーツの部活動継続に配慮したい。



高瀬川の氾濫防止対策について県へ要望を

薄井 孝彦 議員

【建設水道課長】 県へ要望していく

- 問** 高瀬川の氾濫防止対策として次の3項目を県に要望してほしいが。
- ①高瀬川に堆積した土砂の排出を。
 - ②河川内立木の除去を。
 - ③内鎌地区霞提の氾濫防止対策について検討し、対策を。
- 答** ①河川氾濫の恐れがある個所の土砂排出を要望していく。
②治水上支障となる恐れがある個所の伐採を要望していく。
③霞提の構造・安全性につ

いて調査研究していただくよう要望していく。

問 内鎌霞提の河川内にある低水位護岸の一部が6月下旬の増水により破損した(写真)。県に改修を求めて欲しいが。

答 大町建設事務所は改修予算を県議会に上げている。予算が付けば着工になる。

問 町と大町ダムとの連絡体制の更なる充実を

答 更なる町と大町ダムとの連絡体制の充実に向け文書で確認できないか。何らかの形で確認できるよう考えていきたい。

問 30年度・31年度実施の社会資本総合整備事業は町民の意見を聴いて実施を

答 30年度実施の緑地公園整備事業の実施計画案の検討はどこまで進んでいるか。実施計画案について町民の意見を聴く会を早期に開催し、検討を進めて欲しいが。

答 現在、設計業者選定を行っている。設計業者が決まったら素案を作成し、

町民の皆さんの意見を聴く会を12月頃開けるよう準備していく。

問 31年度実施の公民館跡地ミニ公園整備事業・文化財管理施設整備事業の実施計画案の検討はどこまで進んでいるか。

答 両事業とも実施計画の策定は来年度行う。そのなかで町民の皆さんの意見を聴き、31年度に事業実施する。

問 岡麓終焉の家にある貴重な資料は文化財管理施設で展示できないか。

答 文化財保護委員会の審議でも同様の意見があるので検討材料にしたい。



破損した定水位護岸



病児保育を あづみ総合病院で実施を

服部 久子 議員

【教育保育課長】
将来、大町総合病院で実施の方針である

病児保育の実施について

問 子育て世帯は共働きが増え、子どもの病気で仕事を休みづらい状況がある。松川村と共同で病児保育をあづみ総合病院で実施できないか。

答 北アルプス連携自立圏で今秋、公立施設を視察する。あづみ総合病院は実施する余裕がなく、松川村も町と同様に連携自立圏での実施を考えている。

問 子どもの医療費の窓口完全無料化へ

答 子どもの医療費が来年8月から窓口無料化になる。受益者負担の500円をなくし完全窓口無料にできないか。

答 県は、受益者負担を維持し現物給付を実施する。受益者負担をゼロにした場合、町負担が

約750万円増えるのでできない。

問 国民健康保険の広域化で国保料はどうなる

答 国保が広域化になると保険料が高くなると聞かどうか。

答 第2回試算で高くなる見込みが出たが、第3回試算の詳細が9月22日に出るので検討する。

問 国保料は他の健康保険と比べて高い。国保基金残高が29年度には1億9523万円になる。引き下げができないか。

答 前年度国保税の引き下げをし、今年度当初から基金を繰り入れた。県への納付金を確認、検討し財源確保を図り基金を計画的に活用する。

新生児聴覚検査と難聴者への支援

問 新生児聴覚検査の受診状況を把握しているか。また、検査料補助ができないか。

答 29年度から新生児訪問時に確認している。今年度4月から8月までの出生児18人中15人は確認した。検査料補助は予定していない。

問 難聴者の社会参加を促すために、公共施設や役場窓口にはアリスグループの設置ができないか。また、難聴者のシールなどの補助ができないか。

答 現在、手話通訳や筆記通訳を実施している。ヒアリスグループやシールは今後研究する。



ヒアリスグループシステム



鳥獣被害対策を どう進めるか

大出 美晴 議員

【町長】 数を減らすことが一番と考える

問 高瀬川近辺におけるブドウ等、東山山麓における農作物の鳥獣被害を耳にする。特に広津陸郷地区のイノシシ・サル・鹿等による作物被害は農家の方々の生産意欲をなくす原因にもなっている。今では平地でも被害が頻繁に起きている。これから町としても農産品を増やし農業従事者がやりがいを持って作業に専念できる環境を作っていく必要を感じている。

答 山林と畑との境界を明確にするため森林整備を行うと同時に電気柵を設置し、畑への進入を防止するとともに、くくり罠、銃による捕獲を行っている。まずは数を減らすことが一番である。また一人でも多くの方が狩猟免許を取り、鳥獣駆除実施隊に参加してもらうよう努めていく。



水害にあった河川敷グラウンド

問 今年も高瀬川の大水により河川敷のグラウンドが水没したことや、道路に土砂が進入し一時通行ができなくなったことがあった。これから台風シーズンでもあり、災害が起きる可能性は否定できない。想定外の災害に備え、事前に行うべきことがある。

答 8月には大北地域や池田町においても、豪雨災害があった。気象情報は精度が向上しているが、完全ではなく予知が難しい。道路、河川、森林の災害に対する整備は、今後それぞれの担当部署に加え、防災担当の意見も取り入れ、計画をしていかなければならないと考える。また町職員ばかりでなく、町民の方にも啓発して行きたい。



障がい者を含め、みんなが参加できる旅行事業の実施は

矢口 稔 議員

【町長】 障がいのある方の気持ちを伺いたい

問 町では数年前まで、社会福祉協議会が主催して障がい者の方の旅行事業が行われていた。その後、予算削減等により事業が行われなくなりました。福祉のまちづくりから「福祉でまちづくり」の視点で来年度、みんなが参加できる旅行事業が実施できないか。

答 障がい者の皆さんと相互理解を深めることは有意義である。財源、人員など実現性のあるものかどうか判断していく。また、対象の方の気持ちを伺い研究したい。

問 ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインに基づく町の方針は明確にされているのか。

答 障がい者等が専用駐車区画を利用するための県内共通の「利用証」を県が交付する制度

問 インターネットを利用したソーシャル・ネットワークキングサービス(SNS: Facebook、Twitter)の導入検討結果は。

答 発信する内容やコメントの対応が必要である。より効率的な方法を引き続き検討している。

問 自治会未加入世帯の増加災害時の情報伝達に課題

答 自治会未加入世帯が増えている。町は未加入世帯の把握ができていない。災害時における情報伝達方法はどうか。

問 自治会から加入をお願いしても一度断られると勧誘しづらい傾向がある。町の窓口でも対応できないか。

答 公民館事業やそれぞれの役場窓口などで声をかけるなど対応していきたい。

問 町の方針は各省市町村の対応が必要である。より効率的な方法を引き続き検討している。

問 自治会未加入世帯の増加災害時の情報伝達に課題

答 自治会未加入世帯が増えている。町は未加入世帯の把握ができていない。災害時における情報伝達方法はどうか。

問 インターネットを利用したソーシャル・ネットワークキングサービス(SNS: Facebook、Twitter)の導入検討結果は。

答 発信する内容やコメントの対応が必要である。より効率的な方法を引き続き検討している。

問 自治会未加入世帯の増加災害時の情報伝達に課題

答 自治会未加入世帯が増えている。町は未加入世帯の把握ができていない。災害時における情報伝達方法はどうか。



信州パーキングパーミット制度の駐車場表示



移住定住の促進対策は
桜井 康人 議員

【企画政策課長】年代層のニーズに合った政策を展開していく

問 人口ビジョンで示されている2014年までの人口実績以降2015、16年の実績は。 **答** 2015年度の自然増減は80名の減、社会増減は30名の減。2016年は自然増減で146人の減、社会増減は逆に29人の増となり差し引き117人の減である。このまま自然減が続くと、2040年度の人口は7300人程度となり、対策が急務である。

問 移住定住の取り組みは。 **答** 近年の移住相談では30・40歳代が半数を越す状況であり、子育て世代をファーストターゲット、定年退職者をセカンドターゲットとし、それぞれのニーズに合った政策を展開していく。

問 移住者との懇談を。 **答** 今年4月に移住アドバイザー制度を発足させ行政と情報を共有し、移住ツアーを開催することで成果も出ている。

問 空き家を利用した移住体験と今後の方策は。 **答** 今回、直営の移住お試し住宅2棟を整備する。今後は、空き家が負の財産にならないよう空き家バンクを経由した活用を進めていく。

問 健康寿命延伸のための全町の取り組みを。 **答** 健康寿命の定義とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間であるとされ、男性71・19歳、女性74・21歳(国内)平均寿命との差は、男性9・01

歳、女性12・4歳である。この差は支援や介護を必要とする期間となるが町の実態は。 **答** 町の平均寿命は男性81・88歳。女性85・7歳であるが、健康寿命は国が公表しておらず不明。

問 平均寿命と健康寿命差を短縮するための重要課題はなにか。 **答** 病名では、がん、心疾患、脳血管疾患での死亡、介護者が増加している。疾病病名から血管を守る視点での活動が必要と考える。

問 町民とスクラムを組みどう対処していくのか。 **答** 地区組織活動として各種団体と連携し、健康教室の開催、体操普及、情報発信をしていく。

問 町民とスクラムを組みどう対処していくのか。 **答** 地区組織活動として各種団体と連携し、健康教室の開催、体操普及、情報発信をしていく。



空き家バンクに期待する

8月臨時会の概要

8月議会臨時会は8月2日開かれ次の1件の議案を審議し、可決した。

〈29年度一般会計補正予算〉

**弓道場建設に伴う
工事請負費増額**

財源：一般財源 500万円

町の説明

弓道場の移転に伴い安全確保のため防矢ネットの設置、多目的利用できる更衣室の改修を行う。



弓道場移転予定地を視察

**結婚新生活
支援事業費
120万円**

財源：国補助金 90万円
一般財源 30万円

町の説明

人口増対策を図るものとして、国・県の補助金を用い「池田町結婚新生活事業」を行い、新婚世帯に24万円補助し、人口対策を図る。

保育園運営事業

財源：一般財源 42万円

町の説明

犯罪を未然に防ぐ抑止効果等に基づき、保育園に防犯カメラを設置する。

本会議での質疑

問 結婚新生活支援事業費を踏み台として、どのように人口を増やしていくか。

答 1つの施策をきっかけに定住促進、結婚と新たな施策も検討に入っているとこで、成果が上がるよう努めていきたい。

視察レポート

青森県鶴田町の「朝ごはん条例」の食育を学ぶ



議会の食育推進特別委員会では、条例制定を視野に入れた食育の調査・研究を行い、今後の活動に活かすため、全国に先駆け健康長寿の町を宣言した青森県鶴田町の「朝ごはん条例と食育推進の取り組み」を視察研修。

〈視察日〉8月29日（火） 〈視察先〉青森県鶴田町役場

鶴田町の「朝ご飯条例」を基とした「朝ごはんをしっかり食べて健康長寿のまちづくり」の取り組み

- 鶴田町の子どもたちは全国より朝食の欠食率と肥満、夜食を食べる割合が高く、夜更かし傾向にあることから、大人のみならず子どもたちの健康への危機感から全国初となる「鶴田の朝ごはん条例」が誕生した。現在の朝ごはん運動は単に生活リズムの改善だけでなく、学力向上推進にもその目的に広がっている。
- 「朝ごはん条例」の基本方針は次ぎの通りである。①ご飯を中心とした食生活の改善②早寝早起き運動の推進③安全、安心な農産物の提供④鶴田町において生産された農作物（地産地消）の推進⑤食育推進の強化⑥米文化の継承
- 朝ごはん運動推進本部を設置し、町長を本部長、副本部長を教育長・議会議長・商工会長・農協理事として先導をきる中、事務局と推進本部の18の団体が協議・決定していくとした組織体制が確立されていることは、町民と共に歩む健康長寿の町づくりに繋がっているのではと感じた。
- 米・りんご・ぶどう（スチューベント）の豊かな産地であり、米文化の継承として、18歳未満に一人地元米20kgを支給。子育て世帯の支援と米の消費拡大を後押ししている。
- 家庭・学校・地域の連携からなる、町を中心とした食生活改善推進協議会、保健協力員、給食応援隊など関係団体の協力で、地道な活動が食生活の改善に繋がっている。



鶴田町の「朝ごはん条例」の取り組みについて感想

- 「学校・家庭・地域・行政」との連携で食育推進計画を基としたガイドラインで、町民に啓発を地道に進めることが大切と感じた。朝ごはん条例は粘り強く、経験の中で今後、子ども・親を通し家庭の食事を変えていきたいという姿勢と熱意に感動した。
- 鶴田町では目標値を定め、「増やそう野菜、減らそう塩分運動」を行っている。生活習慣病の引き金ともなる塩分摂取について、池田町は推進計画の中で尿中の塩分調査をやるべきで検討が必要と思う。
- 当町でも町長を中心とした推進体制を確立し、1年間の検証により今後どのように結びつけていくのか、実績・検証が必要。旗ふるトップの意欲が反映するものと感じた。

振興文教委員会研修レポート

ハーバルヘルスツーリズムってな～に？

ハーバルヘルスツーリズムとは

池田町の「花とハーブ」の自然環境資源を活用するものです。ハーブや森林のセラピー、有機農産物など地域食材の食事や農作業体験などを組み合わせた観光事業で都市部からの交流人口の増加を図るものです。



自然に囲まれて

8月21日、広津大峯高原「ピオホテル八寿恵荘」を中心に、周辺里山森林浴とカモミール畑を見学。宿泊者の方々と一緒に薪割りや釜戸でのご飯炊きやカミツレエキスのお風呂の入浴、オーガニックの食材や調味料を使った料理をいただく。



カモミールという産品を取り入れた、健康維持、増進、癒し、回復を目的とした滞在型体験である。周辺の里山でミニ実習を含め、こんな自然と過ごし方があるのだと、また隠れた池田町の魅力を改めて発見し、日常の生活を振り返る時間を過ごすことができた。池田町の次世代セールス事業である。みなさんも是非体験してみてください。

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第5回 —



安曇野シュタイナーこども園 おひさま
にしまき ことみ
西牧 琴美さん (中島)

略歴・活動内容

- ・昭和53年4月 豊科町(現在の安曇野市)生まれ
- ・蟻ヶ崎高校卒業後、東京都玉川大学教育学部教育学科で健康教育(保健体育)、幼児教育を学ぶ
- ・卒業後、自然体験活動指導、スポーツ指導を経て、神奈川県のシュタイナー幼稚園に勤務
- ・3年前に長野に帰省し、シュタイナー教育親子クラスを開催、現在、認可外施設保育所として安曇野シュタイナーこども園おひさまを開園。来年度、信州やまほいく認定園にむけて申請予定。

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

安曇野シュタイナーこども園おひさまは、北アルプスを見渡す池田の里山で、シュタイナー教育をベースに伝統的な日本の行事や手仕事、農的な暮らしを大切に、自然と共にある豊かな保育を実践しています。



包丁も上手に使うてやさい切り

木々に囲まれた

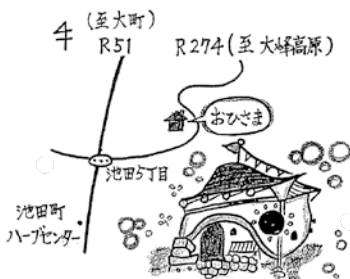
ちいさなおうちを拠点に、室内遊びでは、自由あそびやにし絵、音遊びなど芸術的体験を行っています。また、毎日の戸外活動は、豊かな自然



木登りだってへっちゃら

環境の中で、木の葉や石ころを集めたり、動植物のちいさな命に触れ合い、森へお散歩にでかけたりダイナミックに自然を体験しています。お友達や自然との関わりの中で、自分軸をしっかりと形成し、ひとりひとりがあがるままの自分を大切に日々成長しています。

先日、地域の方の畑でジャガイモやトマトを収穫させていただき、お礼に園舎にあるかまどで子どもたちと野外調理をしてカレー会をしました。今後ともみなさんの愛に包まれ、地域と繋がりたいと思っています。



安曇野シュタイナーこども園
おひさま

電話 090-4244-5108

E-mail ohisamaazumino_info@yahoo.co.jp

議会だよりモニター さんのご意見から

- 内容がわかっている人しか伝わらないところがある。知らない人、当事者以外の人もわかる工夫を。
- 6人しか一般質問されていないのは残念である。
- 2、3ページの補正予算事業が写真入りで一目で理解できて良い。
- 写真の「香り高く咲き誇るラベンダー」は、この色調では伝わらない。通常の写真の色の方がわかりやすい。「花とハーブの池田町」を強調するために大事にしたい。
- 一般質問の答弁の文字が薄い。町民は答弁にも注目している。
- 議案の件名だけでは解らない。内容の説明を書いてほしい。
- ハーブ事業をうまい魅せ方で発信できる人材の育成をし、事業を長くやって町のイメージアップにつなぐよう求める。
- 議会だよりモニターさんをはじめ、町民みなさまのご意見を反映しながら、より親しまれる広報を行いたいと思います。

編集後記

秋たけなわの季節です。初めて編集委員になったばかりの私ですが、115号の議会だよりでは早々に文面の配置に大ミスをしてしまいました。ここにお詫び申し上げます。今後、緊張感をもって臨んでまいります。私の大好きな作家の故井上ひさし氏の言葉に、「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことは、あくまでもゆかいに」このような気持ちで、より身近に感じていただけるように「わかりやすく・ていねいに・たのしく」をモットーに編集に心がけていきます。ぜひご覧ください。

横澤はま

議会報編集特別委員会

委員長 服部 久子
副委員長 横澤 はま
委員 矢口 新平
和澤 忠志
那須 博天